

October 7, 2021

【前日の為替概況】ドル円、原油価格反落と米 10 年債利回り 1.52%台で 111.20 円まで反落

6 日のニューヨーク外国為替市場でドル円は小反落。終値は 111.41 円と前営業日 NY 終値 (111.46 円) と比べて 5 銭程度のドル安水準だった。インフレ懸念や米債務上限問題などを巡る不透明感が重しとなり、欧州株相場が軟調に推移したほか、現物のダウ平均が一時 450 ドル超下落。投資家がリスク回避姿勢を強め円買い・ドル売りが先行した。9 月 ADP 全米雇用報告は予想を上回ったものの、ドル買いでの反応は鈍く、24 時前に一時 111.20 円と日通し安値を更新した。

ただ、「マコネル米上院院内総務 (共和党) は債務不履行 (デフォルト) を回避するため 12 月までの債務上限の停止を提案した」との報道が伝わると、米国のデフォルト懸念が後退し米株式主要 3 指数が全てプラス圏に浮上。投資家のリスク・オフ姿勢が和らぎ円売り・ドル買いがじわりと強まった。3 時 30 分前には 111.50 円付近まで持ち直した。

ナイト・セッションの日経平均先物も大証終値比 430 円安の 2 万 6980 円まで急落したあと、同 340 円高の 2 万 7750 円まで切り戻した。

ユーロドルは続落。終値は 1.1556 ドルと前営業日 NY 終値 (1.1598 ドル) と比べて 0.0042 ドル程度のユーロ安水準だった。欧州市場ではリスク・オフのドル買いが優勢となり、一時 1.1529 ドルと昨年 7 月 22 日以来の安値を付けたものの、NY 市場ではじりじりと下値を切り上げた。大幅安で始まった米国株が持ち直したことで、リスク・オフのドル買いが後退し、1.1560 ドル付近まで下げ幅を縮めた。

ユーロ円は 3 営業日ぶりに反落。終値は 128.74 円と前営業日 NY 終値 (129.28 円) と比べて 54 銭程度のユーロ安水準。米国株価の下落を背景にリスク・オフの円買い・ユーロ売りが優勢となり一時 128.33 円と日通し安値を付けたものの、売り一巡後はじりじりと下値を切り上げ 128.80 円付近まで下げ渋った。ドル円やユーロドルと似た動きとなった。

代表的な暗号資産 (仮想通貨) であるビットコインはしっかり。対ドルでは一時 5 万 5422 ドル台と 5 月 12 日以来約 5 カ月ぶりの高値を付けたほか、対円でも 615 万円台と 5 月上旬以来の高値を更新した。高インフレと低成長で足もと株式など従来型資産のパフォーマンスがさえず、仮想通貨への資金流入が目立つ展開となった。市場関係者からは「ビットコイン以外の仮想通貨も上昇する中、4 月中旬に付けた過去最高値 6 万 4869 ドルが視野に入る」との声が聞かれた。

著名投資家のジョージ・ソロス氏が率いるソロス・ファンド・マネジメントがビットコインを保有しているとのニュースも話題だった。

【本日の東京為替見通し】原油価格下落で日本売り (円売り・株売り・国債売り) は一服か

本日の東京外国為替市場のドル円は、原油価格の反落を受けて日本売り (円売り・日本株売り・日本国債売り) が一服し、上値が重い展開が予想される。

CTA (商品投資顧問業者) などの米系短期筋は、今週初から、原油価格や天然ガス価格などのエネルギー価格が高騰していたことで、原油価格上昇に対して脆弱な日本経済に狙いを定めて、日本売り (円売り・日本株売り・日本国債売り) を仕掛けていた。しかし、昨日は、原油価格が米戦略石油備蓄 (SPR) 放出の可能性との報道を受けて反落したことで、ドル円も反落している。本日は、明日に米 9 月雇用統計の発表を控えていることで、上値が重い展開が予想される。

ドル円の上昇を牽引していた米 10 年債利回りの上昇基調も、1.57%台から 1.52%台へ低下していることで、今後の米 10 年債利回りの動向は米 9 月雇用統計次第となっている。

また、イエレン米財務長官が 10 月 18 日を X デイと警告していた連邦債務上限に関しては、マコネル米共和党上院院内総務が民主党に対して、11 月末までの債務上限引き上げで合意する案を明らかにしたことで、米国が直ちにデフォルト (債務不履行) に陥るリスクが後退した。

本日は、もう一つのデフォルト (債務不履行) 懸念問題である、中国恒大集団に関するヘッドラインに要警戒となる。

ドル円の注文状況は、111.50 円の 7 日の NY カットオプションを軸にして、上値には、111.80 円にドル売りオーダー、111.90-112.00 円に断続的にドル売りオーダーが控えている。下値には、111.20 円にドル買いオーダー、111.00 円に 7・8 日の NY カットオプションとドル買いオーダー、割り込むとストップロス売りが控えている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◇ 9月外貨準備高
- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）
- 10:00 頃 ◎ 黒田東彦日銀総裁、あいさつ（支店長会議）
- 14:00 ◇ 日銀地域経済報告（さくらレポート）
- 14:00 ◇ 8月景気動向指数速報値（予想：先行 102.0／一致 91.5）

<海外>

- 14:45 ◇ 9月スイス失業率（季節調整前、予想：2.7%）
- 15:00 ◎ 8月独鉱工業生産（予想：前月比▲0.4%／前年同月比 5.0%）
- 15:45 ◇ 8月仏貿易収支
- 15:45 ◇ 8月仏経常収支
- 17:30 ◎ エルダーソン欧州中央銀行（ECB）専務理事、講演
- 17:30 ◎ レーン ECB 専務理事兼主任エコノミスト、講演
- 20:00 ◎ 9月メキシコ消費者物価指数（CPI、予想：前月比 0.60%）
- 20:30 ☆ ECB 理事会議事要旨（9月9日分）
- 20:30 ◇ 9月米企業の人員削減数（チャレンジャー・グレイ・アンド・クリスマス社調べ）
- 21:00 ◎ ホルツマン・オーストリア中銀総裁、講演
- 21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：34.8万件／278.0万人）
- 22:00 ◎ シュナーベル ECB 専務理事、講演
- 23:00 ◇ 9月カナダ Ivey 購買部協会景気指数
- 8日 00:45 ◎ メスター米クリーブランド連銀総裁、パネルディスカッションに参加
- 8日 01:00 ◎ マックレム・カナダ銀行（中央銀行、BOC）総裁、講演
- 8日 04:00 ◇ 8月米消費者信用残高（予想：175億ドル）
- 中国（国慶節）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

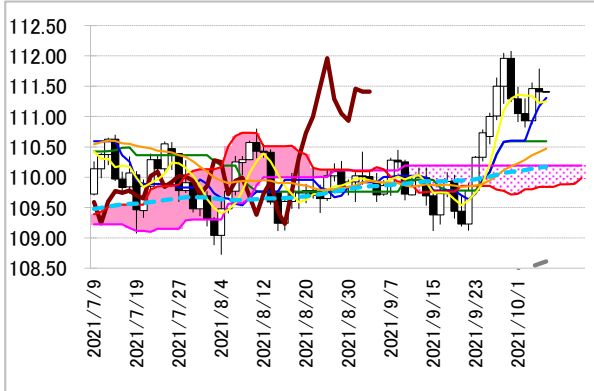
※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

- | | |
|---|---|
| <p>6日 05:59 バイデン米大統領
「パウエル FRB 議長を信頼している」
7日 02:16
「共和党の債務上限についての行動は正しくなく危険」
「市場は債務上限問題で混乱している」</p> <p>6日 10:03 ニュージーランド準備銀行(RBNZ)声明
「今後さらなる刺激策の縮小が見込まれる」
「コストの上昇圧力はより持続的になっている」
「刺激措置の縮小を継続することが適切と判断」
「ヘッドラインCPIは鈍化する前に短期的には4%を上回る見通し」
「インフレ率、中期的には2%に向かう見込み」
「コロナ制限が緩和されれば景気の回復ペースが速まる」
「住宅価格の水準は持続不可能」
「生産能力圧力のインフレへの波及が見られる」</p> <p>6日 11:14 黒田東彦日銀総裁
「日本経済は輸出や製造業主導で持ち直している」
「日本のインフレ率は米国をはっきりと下回っている」</p> <p>6日 15:12 ルメール仏財務相
「燃料価格が上昇し続けるなら、仏政府は介入するだろう」</p> <p>6日 16:21 センテノ・ポルトガル中銀総裁
「経済の勢いが弱まっている兆候」
「現在の異常な状態が落ち着けば、インフレは緩和すると予想」</p> <p>6日 16:33 スキングスレー・リクスバンク(スウェーデン中銀)副総裁
「インフレの見通しは弱い方向性」
「まだ金融政策の計画を変更する時ではない」
「金融政策については慎重である必要」</p> <p>6日 19:49 ジョンソン英首相
「英国経済の長期的な構造的弱点に対処する」
「英国は高賃金、高い技術力、低税率の経済になる」
「地域間の不平等がこの国を後退させている」</p> | <p>6日 21:23 プーチン露大統領
「世界のエネルギー市場の安定化を支援する準備」
「ヨーロッパへのガス輸出を増やす」
「ロシアはヨーロッパ、アジアにとって信頼できる天然ガスの供給源」</p> <p>7日 00:32 バーキン米リッチモンド連銀総裁
「需要は非常に強い」
「供給のボトルネックがインフレに寄与」</p> <p>7日 00:43 ブリンケン米 국무長官
「中国に中国恒大集団の危機に責任を持って行動するよう要請」</p> <p>7日 02:30 イエレン米財務長官
「米国がデフォルト(債務不履行)すれば破滅的な結果になる」
「デフォルトすれば米国はリセッションを経験するだろう」</p> <p>7日 02:47 マコネル米上院院内総務(共和党)(一部報道で)
「本日、短期的な債務上限引き上げを提案する」</p> <p>※時間は日本時間</p> |
|---|---|

〔日足一目均衡表分析〕

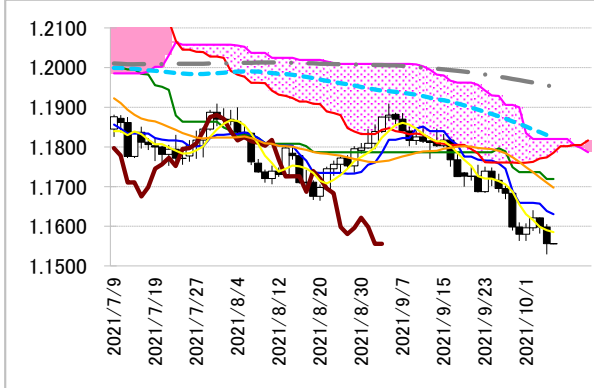


<ドル円＝基準線を支持に押し目買いスタンス>

小陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。孕み線で反落しているものの、転換線を上回って引けていることで、反発の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	112.40(2019/4/24 高値)
レジスタンス 1	112.08(9/30 高値)
前日終値	111.41
サポート 1	110.60(日足一目均衡表・基準線)
サポート 2	110.19(日足一目均衡表・雲の上限)

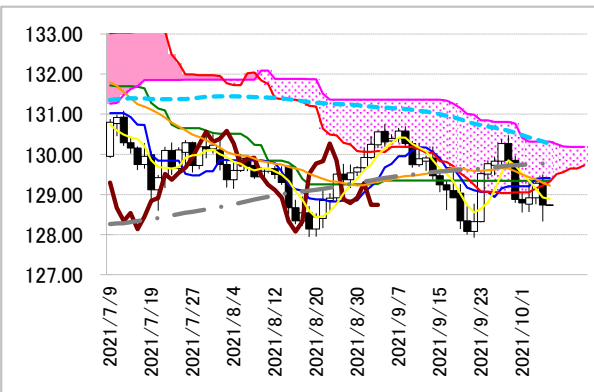


<ユーロドル＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。2手連続陰線で下落し、転換線を下回って引けていることで続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1631(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1556
サポート 1	1.1507(2020/7/22 安値)

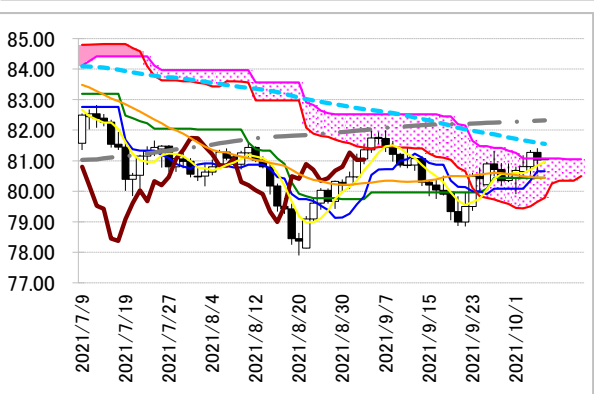


<ユーロ円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることから、売りシグナルが優勢な展開となっている。抱き線で反落し、転換線を下回って引けていることで続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	129.41(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	128.74
サポート 1	127.93(9/22 安値)



<豪ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けており、買いシグナルが優勢な展開となっている。3手連続陽線で上昇し、孕み線で反落しても、転換線を上回って引けていることから反発の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	82.03(9/3 高値)
前日終値	81.03
サポート 1	80.66(日足一目均衡表・転換線)

